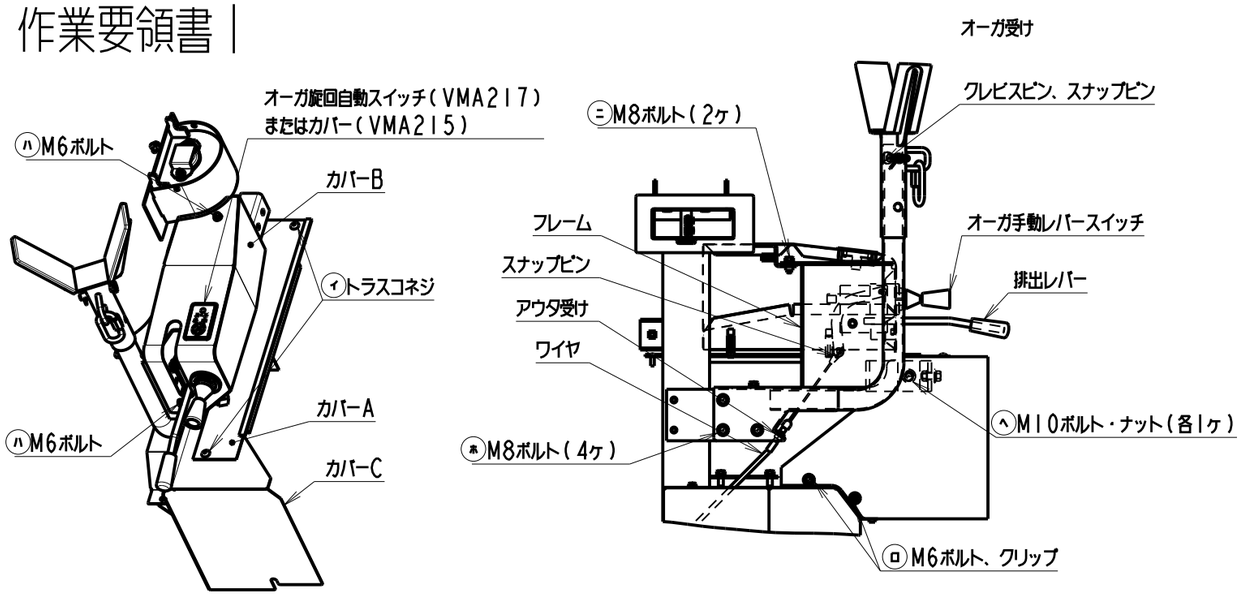
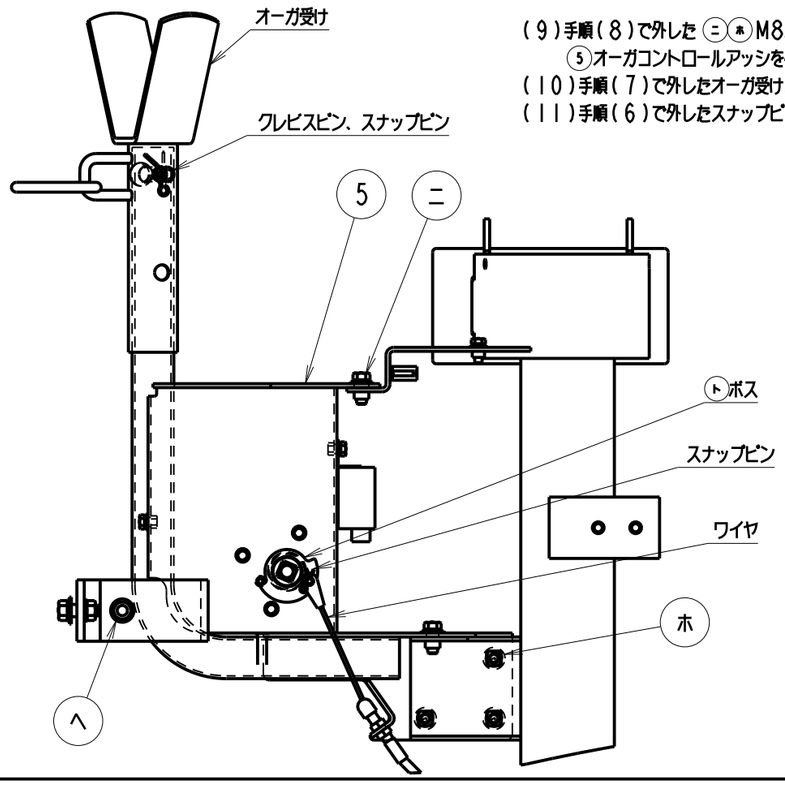
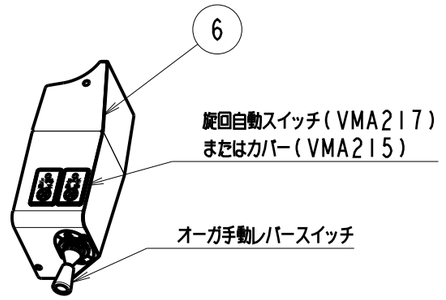
作業要領書 |



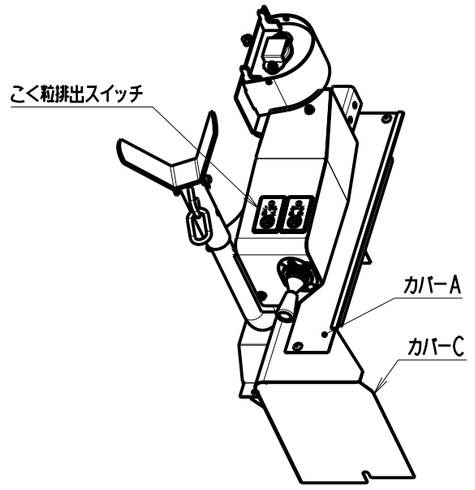
（1）エンジンを始動し、オーガを機体後方まで旋回させ、エンジンを停止します。
（2）グレンタンクの取り外し要領に従い、タンクを取り外します。
（3）イトラスコネジ（2ヶ）、ロM6ボルト、クリップを外しカバーA、Cを外します。（これらは再度使用するので保管しておいて下さい。）
（4）カバーB内部の配線類のコネクタを外します。
（5）ハM6ボルト（2ヶ）を外し、カバーBを取り外します。また、カバーBから、オーガ手動レバースイッチ、旋回自動スイッチ、またはカバーも取り外してください。
（ボルトとスイッチ等は再度使用するので保管しておいて下さい。）
（6）ワイヤエンド部のスナップピンを取り外し、ワイヤをアウタ受けから外しておきます。（スナップピンは再度使用するので保管しておいて下さい。）
（7）オーガ受け部のクレビスピン、スナップピンを取り外し、オーガ受けを外しておきます。（これらは再度使用するので保管しておいて下さい。）
（8）ニホM8ボルト（6ヶ）及びヘM10ボルト・ナット（各1ヶ）を外し、フレームを取り外します。（各ボルト・ナットは再度使用するので保管しておいて下さい。）

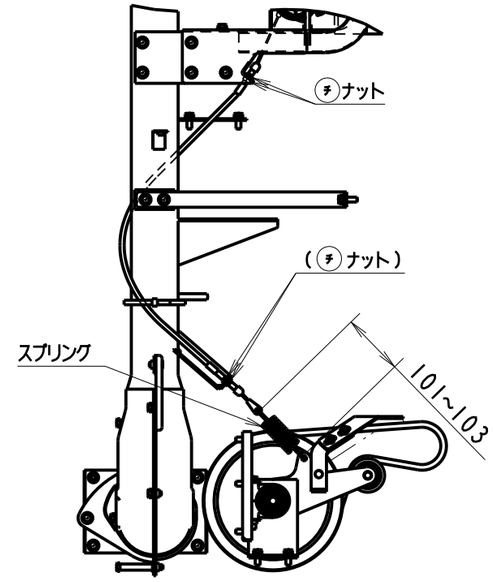


（9）手順（8）で外したニホM8ボルト（6ヶ）及びヘM10ボルト・ナット（各1ヶ）で、
5オーガコントロールアッシを機体に取り付けます。
（10）手順（7）で外したオーガ受け、クレビスピン、スナップピンを取り付けます。
（11）手順（6）で外したスナップピンで、ワイヤをトボスに連結し、アウタ受けに取り付けます。



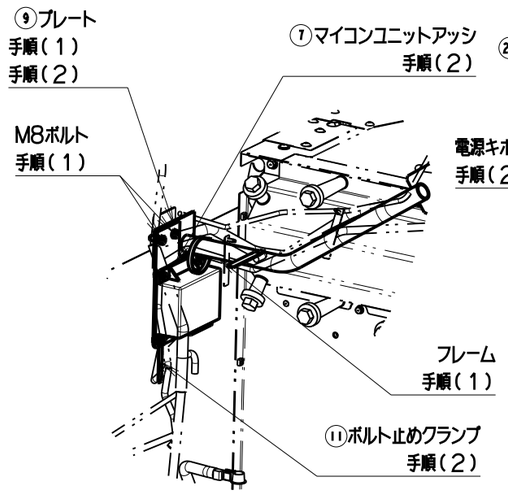
（12）手順（5）で外したオーガ手動レバースイッチ、旋回自動スイッチ、またはカバーを、6カバーアッシに取り付けます。



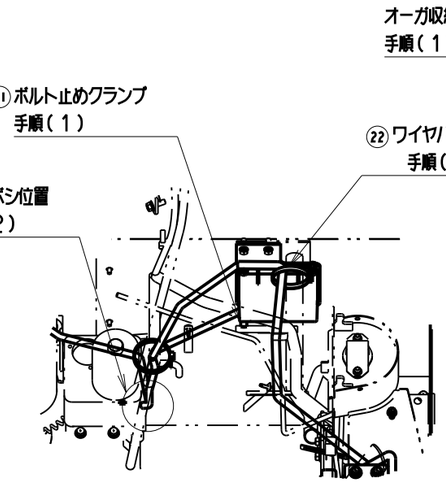


（13）作業要領書2に従い、配線の配索を行います。
（14）作業要領書2の作業が終了したら、スタータスイッチを<入>の位置まで回します。（この時エンジンは始動しません。）
（15）こく粒排出スイッチを押します。（モータが作動し、排出クラッチが<入>状態となります。オーガ収納位置では、モータは作動しません。）
（16）スタータスイッチを<切>にします。（排出クラッチは<入>状態のままです。）
（17）スプリングセット長（スプリングフックの内-内寸法）が101～103mmになるようにアウタを調整しチナットを締め付けます。
（調整代が不足する場合は、スプリング側のアウタも調整してください。）
（18）エンジンを始動し、こく粒排出スイッチを<入>にして数秒間作動後、エンジンを停止します。
（19）再度、排出クラッチが<入>状態のスプリングセット長を確認し101～103mmになるよう再調整を行って下さい。
（20）手順（3）で外したカバーA、Cを組付けます。
（21）エンジンを始動し、本機側および先端側の各スイッチ操作で、オーガ作動、クラッチ入断ができることを確認してください。
このとき、油圧シリンダホースや配線が、突っ張ったり、折れたりしないことを確認してください。
（22）オーガを元の位置に戻します。

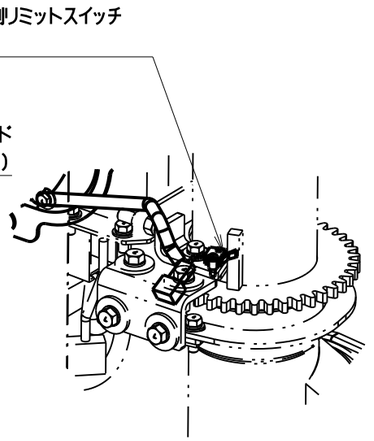
作業要領書2



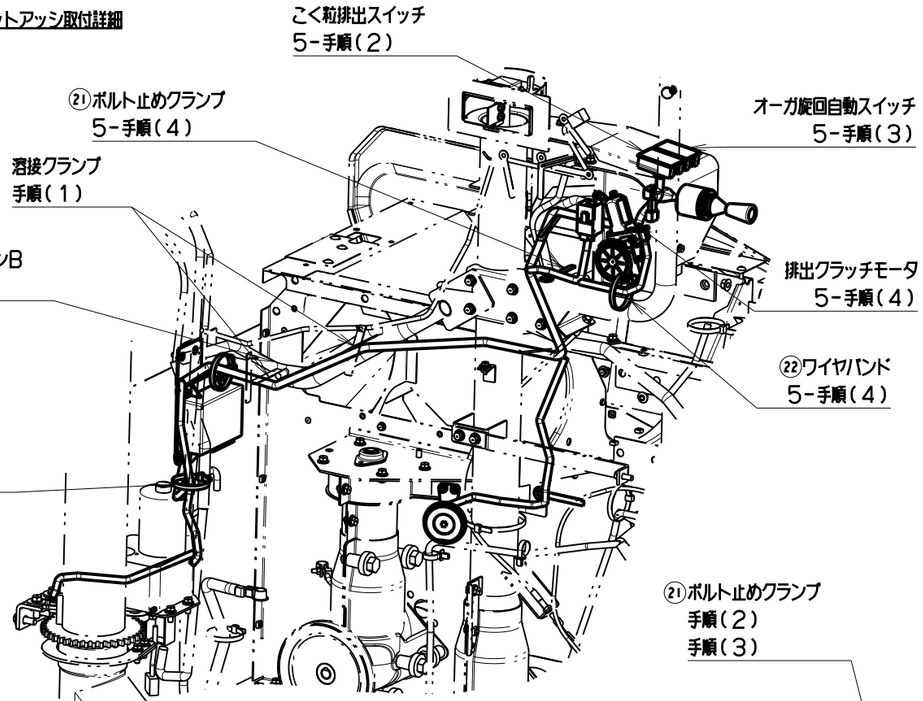
1. マイコンユニットアッシ取付詳細



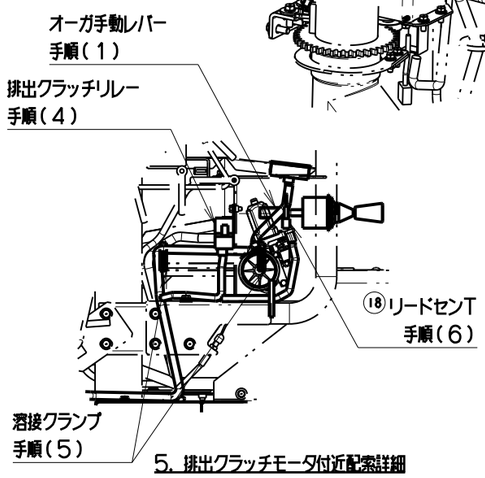
2. マイコン付近ハーネスGK配索詳細



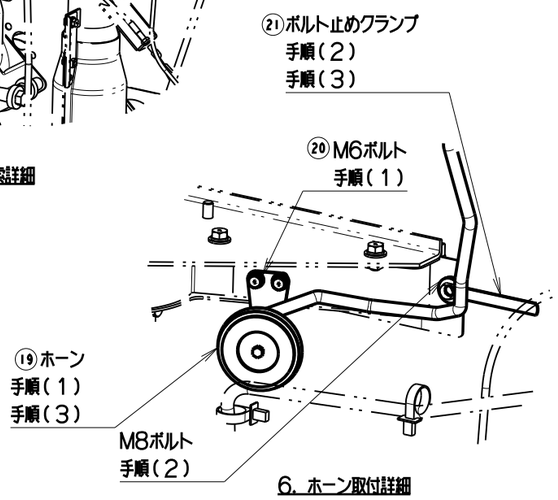
3. オーガ収納側リミットスイッチ配索詳細



4. ハーネスGK配索詳細



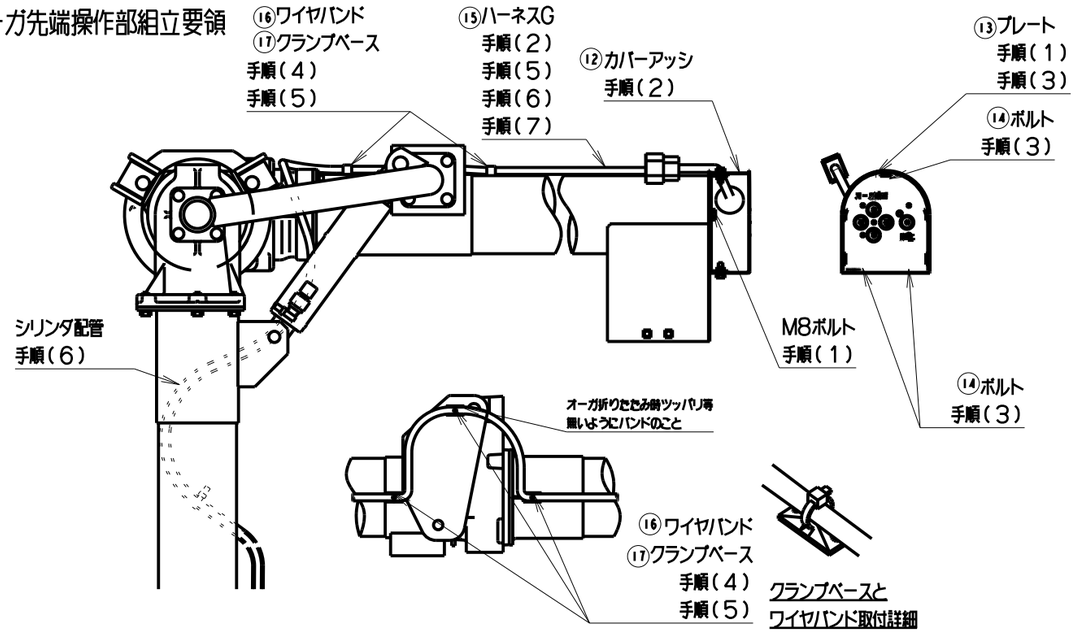
5. 排出クラッチモータ付近配索詳細



6. ホーン取付詳細

1. マイコンユニットアッシ取付
(1)フレームを固定するM8ボルト(2ヶ)をはずし、⑨プレートをフレームと共締めします。
(2)⑩ハーネスGKと⑦マイコンユニットアッシを接続し、⑨プレートに⑦マイコンユニットアッシと⑪ボルト止めクランプを取り付けます。(⑧M6ボルト4ヶ)
2. マイコン付近ハーネスGK配索
(1)⑩ハーネスGKを㉒ワイヤバンドと1.で取り付けた⑪ボルト止めクランプで固定します。
(2)クミハイセンBの電源キボシ(テービングをはずして)を⑩ハーネスGKに接続します。
3. オーガ収納側リミットスイッチ配索
(1)オーガ収納側リミットスイッチのコネクタ(白)をはずし、スイッチのコネクタとクミハイセンBのコネクタの間に⑩ハーネスGKを接続します。
4. ハーネスGK配索
(1)⑩ハーネスGKはクミハイセンBに沿って溶接クランプを利用して固定します。
5. 排出クラッチモータ付近配索
(1)オーガ手動レバーのコネクタ(白)をはずし、レバーのコネクタとクミハイセンBのコネクタの間に⑩ハーネスGKを接続します。
(2)こく粒排出スイッチと⑩ハーネスGK(赤チューブコネクタ)を接続します。
(3)オーガ旋回自動仕様(VMA217)はオーガ旋回自動スイッチとクミハイセンB(黒チューブコネクタ)を接続します。
(4)新たに組付けた排出クラッチモータと排出クラッチリレーを⑩ハーネスGKに接続し、㉒ワイヤバンドと㉑ボルト止めクランプで固定します。
(5)排出クラッチレバーの入り側スイッチについていたクミハイセンBのコネクタと⑱リードセンTを接続します。
(6)⑩ハーネスGKをクミハイセンBに沿って溶接クランプで固定します。
6. ホーン取付
(1)⑲ホーンを⑳M6ボルト(2ヶ)でラセン2に取り付けます。
(2)ラセン2のM8ボルトをはずし、㉑ボルト止めクランプを取り付けます。
(3)⑩ハーネスGKと⑲ホーンを接続し、⑩ハーネスGKを㉑ボルト止めクランプで固定します。
7. オーガ先端操作部
(1)オーガ先端操作部組立要領にて⑮ハーネスGと接続します。

7. オーガ先端操作部組立要領



折りたたみ部クランプ詳細

(1)オーガ先端のM8ボルト(2ヶ)をはずし(ボルトをはずす時スペーサがはずれるので注意します)、⑬プレートをはずしたボルトで取り付けます。
(2)⑮ハーネスGと⑫カバーアッシ配線を接続します。
(3)⑫カバーアッシを⑬プレートに取り付けます。(⑭ボルト3ヶ)
(4)⑰クランプベースを図中位置に貼り付けます。(図中にない場所は300~400mm毎に貼り付けます。)
(5)⑮ハーネスGを⑰クランプベースと⑯ワイヤバンドで固定しながら後方まで配索します。
(6)⑮ハーネスGは後方でシリンダ配管に沿って配索し、下方におろします。
(7)⑮ハーネスGは⑩ハーネスGKと接続し、余った配線は㉒ワイヤバンドで束ねます。